

## 教育委員会定例会（平成19年9月）会議録

1 日 時	平成19年9月6日（木） 16:00 ～ 17:15
2 場 所	新居浜市庁舎 3階 応接会議室
3 出 席 者	委員長 栗 田 敬 子 委員 小 野 正 師 宇 野 征 一 太 田 恵 理 子 教育長 阿 部 義 澄 事務局長 池 内 貞 二 総括次長 日 野 清 次 長 真 鍋 智 明 次長兼館長 前 垣 芳 郎 課 長 高 橋 康 文 岩 崎 幸 夫 近 藤 清 治
4 教育長の 一般報告	(1) 8月分行事報告及び9月分行事予定について
5 記録者氏名	社会教育課 日野 里美
6 会議の概要	<報 告> 教育長の一般報告について  <専決処分の報告> 報告第7号 平成19年度9月補正予算編成の議案提出について  <その他>

<p>栗田委員長</p>	<p>それでは定刻が参りましたので、平成19年第9回新居浜市教育委員会定例会を開催致します。本日の会議録署名委員は、小野委員さん、宇野委員さんをお願い致します。会期は本日限りといたします。平成19年第8回の定例会会議録の承認は小野委員さんと、栗田で署名致しております。</p> <p>それでは教育長さんからの一般報告をお願い致します。</p>
<p>阿部教育長</p>	<p>それでは、一般報告を行います。資料の2ページをご覧ください。8月の主な行事についてご報告いたします。</p> <p>9日 郷土美術館において「シベリア抑留関係展示会」が開催されました。先の大戦で約60万人余りがシベリア各地に強制拉致され、酷寒の地で飢餓と重労働、疫病等により、6万人余りの方々がなくなられた事実を風化させず、後世に伝えて、改めて戦争の悲惨さ、平和の尊さについて問い直すことを目的として開催されました。</p> <p>「にいほま子ども環境サミット」を開催しました。平成18年度の子どもと教育を語るつどいで小学生より子ども環境サミットの開催の要望、教職員提案制度の中で教員からも提案があり、地球温暖化等環境問題が世界的規模で問題となっている現状から、にいほまスクールエコ運動の拡大を含め、環境保全に向けた実践を推進するとともに、各学校や家庭等で取り組んでいる環境教育の交流を深め、すすんでより良い環境作りに取り組もうとする子どもの育成を図るために開催しました。</p> <p>10日 第45回四国中学校総合体育大会報告会が開催され、陸上競技女子で川東中学校の横井優貴さんが砲丸投げ、南中学校新体操部、バドミントン男子ダブルス中萩中学校 大角哲也さん・北岡真一さん、シングルス船木中学校 新居克也さん、女子ダブルス中萩中学校大條祐佳李さん・山田愛美さん、シングルス古本瑞季さんがすばらしい成果を見せ、全国大会へ出場することになりました。また学校対抗では、川東中学校陸上女子が総合優勝をいたしました。</p> <p>新居浜市教育研究所所員会が開催され、新居浜市の教職員の資質の向上のための支援事業として、金沢市教育委員会や金沢市立の小・中学校を研修訪問された、大生院小学校 真鍋慶子教頭、新居浜小学校 近藤雪代教諭、21日には大生院中学校 久保善嗣教諭、川東中学校 西山広之教諭の報告が行われました。</p> <p>11日 垣生小学校で納涼まつりが開催されました。小・中学生を始め、多数の地域の皆さんの参加のもと、ビンゴゲーム・盆踊り・花火の打ち上げ・バザーなどで楽しいひと時を過ごしました。15日には、船木校区で「船木ふるさと夏まつり」が太鼓台の出場もありにぎやかに開催されました。18日には、神郷夏まつりが三世代の交流を目的として、26日には、泉川校区で「ふるさとづくり星原市」とし</p>

て相撲大会やもち投げ等、趣向を生かしたイベントが催されました。

12日 第3回市民音楽祭「あなたを見たい！・応援したい！」が開催され、中萩中学校選択音楽3年有志が、四季の日本古謡を演奏出場しました。

13日 耐震工事が行われている学校へ、取組状況の把握のため現場視察を行いました。

18日 第33回四国ウエイトリフティング選手権大会が新居浜市営重量挙練習場を会場として、四国四県から高校生・一般成人が競技を行いました。高知県からは、中学生も選手として参加していました。

21日 国民体育大会軟式野球競技の部に、四国代表として、秋山工業倶楽部が出場することになり、チーム責任者秋山周三氏や選手の代表者が市長に報告に来られました。

22日 市教委主催の特別支援教育研修会が、小・中学校教員・保護者等関係者約670名が参加して開催されました。特別支援教育が今年度から開始され、共通理解を図るため開催しました。講義により、特別支援教育にかかる制度の変更点、LD・ADHD・高機能自閉症等の幼児・児童・生徒の特性の理解とその支援について具体的に学び、内容の濃い研修になりました。

23日 小中学校防災教育研修会が、各校の防災教育主任が参加し、愛媛大学防災情報研究センターの支援を受け開催されました。愛媛大学工学部 谷田部龍一教授・教育学部 高橋治郎教授の防災教育基礎知識講座や船木中学校の総合防災訓練実施報告、多喜浜小学校危険予知図上演習実施報告、市指定校の防災計画や取り組みの報告、防災教育の進め方に関するワークショップが行われました。

また、防災教育の推進をサポートをするための、愛媛ボウサイッコ教育協議会設立会が開催され、市連合自治会・四国地方整備局松山河川国道事務所・愛媛県技術士会・愛媛大学防災情報研究センター・新居浜市防災安全課・新居浜市総務警防課・新居浜市教育委員会等の関係団体が集まり、審議の結果、設立することに決定しました。来年度から全小中学校で実施する防災教育の支援体制を充実していきたいと思えます。

24日 第4回小中学校教頭研修会が「いじめ・不登校を生まない楽しい学校づくりのために、教頭としてどのように取組んでいるか。」等のテーマで研究協議が行われました。

25日 多喜浜公民館と多喜浜小学校が、7月25日から取組んでいた「多喜浜防災まちあるき」のプロジェクトの発表会が開催されました。多喜浜小学校5・6年生26名と地域の参加者が現地での聞き取りや被害状況を発表してくれました。その成果を多喜浜防災マップとしてまとめられ、校区自治会員に配布されました。

また、26日の二日間で全国高等専門学校体育大会のバドミントン

選手権大会が開催されました。

26日 新居浜市総合防災訓練が、地震を想定して開催されました。今年より地域密着型の訓練とするために、惣開校区・金子校区・若宮校区・金栄校区で同時に開催をされ、惣開校区では、小学生も避難訓練に参加して実施され、はしご車への試乗、防災クイズ、起震車体験等を行いました。

ヨシイバレエ芸術学園による、51回目の公演がかわいいバレリーナたちによって演じられました。

28日 第2回小中学校教務主任研修会が「学校の教育目標を実現するために、教務主任はどのようにリーダーシップを発揮しているか。」等のテーマで研究協議が行われました。

「子ども見守り活動」の情報交換会が開催されました。地域の見守り活動の代表者、公民館長、校長、PTA会長等約80名が参加し、「見守り活動の現状とこれからの方向性について」のテーマで、パネルディスカッションが行われ、コーディネーターに浮島小学校長 目見田康介さん、パネリストに船木かぶとっこ見守り隊代表 高橋迪雄さん、新居浜市公民館連絡協議会長 藤田一さん、新居浜市PTA連合会長 原雄一さん、教育委員会事務局長 池内貞二さんによるメンバーで行われました。日ごろの活動に基づいた本音の思いが述べられた話し合いになりました。

29日 各学校に設置されているAEDの活用を推進するための、救急救命講習会が実施されました。今年度の取り組みにおいて、市内の教職員のうち85名が講習を受け、他の教職員や生徒への指導に役立ていく予定になっております。

30日 耐震工事が行われている学校へ、児童生徒の安全確保の状況の把握のため、視察を行いました。また、31日に、確認状況から、各工事現場責任者への安全確保の依頼をいたしました。

平成20年度の「夢広がる学校づくり推進事業」のプレゼンテーションが行われました。小中学校の15校が参加し、校長先生方の来年度に向けての思いが伝えられました。

9月2日 新居浜市PTA連合会主催第16回レクリエーションバレーボール大会が開催されました。小中学校26チームが参加し、ゲームを楽しもうという雰囲気の中で明るい応援の声を聞きながら、会員相互の親睦が図られたと思われました。熱戦の末、優勝 金子小学校、二位 船木中学校、三位 中萩小学校、大生院中学校の順位となりました。今年度から設けられました敢闘賞に、惣開小が選出されました。

第47回四国合唱コンクールが開催され、中学混声の部で、西中学校と角野中学校が熱唱を披露し、見事、西中学校が金賞に選出され、第59回全日本合唱コンクール大会へ出場することになりました。

3日 公立幼稚園・小中学校で第2学期が開始されました。

	<p>市民体育祭校区対抗種目組み合わせ抽選会が開催されました。</p> <p>4日 第4回市議会定例会本会議が開会されました。</p> <p>6日 平成19年度教職員提案制度のプレゼンテーションが開催されました。今年は3件が提案されました。</p> <p>その他、9月の主な行事予定について報告を申し上げます。</p> <p>8日 平成19年度特別企画展「橋本明治・橋本弘安展」開展式が行われます。企画展は23日までです。</p> <p>池田池をわたる風とマンダリンの演奏があります。</p> <p>9日 船木小学校防災教育公開授業が午前中行われます。また、近県柔道大会が開催されます。</p> <p>11日から13日 第4回新居浜市議会定例会本会議一般質問が行われます。</p> <p>12日 第1回健康講座が別子銅山記念図書館で開催されます。このことについては、後ほど前垣館長から説明があると思います。</p> <p>14日 スポーツ振興審議会</p> <p>16日 中学校運動会、別子小学校運動会</p> <p>17日 共に生きる街づくり講演会</p> <p>18日 福祉教育委員会</p> <p>21日 本会議・委員長報告</p> <p>22日 公民館ルネサンス塾</p> <p>23日 小学校運動会</p> <p>24日 人権フォーラム</p> <p>27日 英語スピーチコンテスト</p> <p>28日 中学校「学校へいこうデー（日）」</p> <p>29日 大島小学校、王子・神郷幼稚園運動会</p> <p>30日 生き生き幸せフェスティバル</p> <p>以上で一般報告を終わります。</p>
葉田委員長	<p>ありがとうございました。ただ今の教育長さんの一般報告について、ご質問、ご意見、ご感想がございましたらお願いします。</p>
阿部教育長	<p>お手元に先程言いました、平成19年度全国中学校総合体育大会新居浜選手団の成績報告の資料があると思いますのでご覧ください。砲丸投の横井さんの記録が10m76cm、新体操が10位で全国25チームの参加で半分より上位に入っています。</p>
葉田委員長	<p>ありがとうございました。その他、何かございませんか。</p> <p>新居浜子ども環境サミットの感想なのですが、子ども達が非常に素晴らしかったと思います。来年度以降、何か計画は無いのでしょうか。</p>

高橋学校教育課長	<p>環境サミットを開いた目的の1つに、今現在スクールエコ運動をしまして、これは学校版ISOということですが、今は垣生小学校だけしか取り組んでいません。学校教育課としては、その運動を拡大したいと思っておりますので、これを契機に各学校から申請を頂き、チャレンジして頂きたいと思っております。</p>
栗田委員長	<p>各学校への周知をお願いしたいと思います。</p> <p>それと、耐震工事の事でお伺いしたいのですが、夏休み中に終わらずに工事が長引いていますよね。小学校に扇風機を設置して対応して下さいとお伺いしたのですが、新学期が始まり、どのような状況なのでしょうか。</p>
高橋学校教育課長	<p>今のところは、特に問題なく進められていると聞いております。それと、金子小学校においては、試験的にコンパネではなく、アクリル板にしております。ただ、アクリル板に替える事によって、温室状態となり温度が高くなり過ぎないかという懸念もありますが、なるべく子どもたちが過ごしやすいようにと考えております。今のところ特に問題があるとは聞いておりません。</p>
栗田委員長	<p>完了はいつ頃の予定ですか。</p>
高橋学校教育課長	<p>工期は11月末となっております。校舎については、ベランダをのけてブレスを付け、そしてまたベランダを付けるというような作業になりますので、時間がかかると聞いております。体育館につきましては、川東中学校は完了しております。西中学校は9月末の完了予定です。</p>
栗田委員長	<p>校舎を覆っていますが、明るさとかは大丈夫ですか。</p>
高橋学校教育課長	<p>照明を付けたら、十分であるとは聞いております。ただ、先程言いましたように、金子小学校は明かりの面からアクリル板にしております。</p>
栗田委員長	<p>それともう一つ、多喜浜防災マップを頂いたのですが、その件についてテレビでの放送があると伺ったのですが、いつでしょうか。</p>
阿部教育長	<p>9月7日です。</p>
栗田委員長	<p>はい。愛大の高橋教授とお会いする機会がありまして、新居浜市の積極的な取り組みについて感謝されておりました。是非頑張って県下に</p>

阿部教育長	<p>進めるためのトップを切って頂きたいと言われておりましたので、今後ともよろしくお願い致します。その他よろしいでしょうか。</p> <p>はい。今、栗田委員長さんが言われましたが、明日9月7日、午後7時30分からNHKの四国羅針盤で「四国の防災」のテーマで、多喜浜の取り組みや、新居浜の取り組みが出るとお思いますので、見て頂けたらと思います。</p>
前垣図書館長	<p>教育長さんの報告の中でありました、9月12日に第1回健康講座を開催します。お手元にお配りした資料をご覧ください。</p> <p>この講座は、十全総合病院主催で、図書館が後援です。今後の図書館の健康支援に繋げていくため、従来病院で入院患者さんや外来患者さん向けに実施されていたものを、私ども図書館来館者にも聴講してもらいたいと考え、第1回となりました。今後も反響を見ながら第2回・第3回となることを祈っております。</p> <p>今回のテーマは「転倒予防について」です。講師は十全総合病院の伊藤雄基さんです。お年寄りやその介護者、これからお年寄りになるかた向けかと思えます。</p> <p>このように、図書館は本の貸し出しだけの「貸出図書館」ではなく、ビジネス支援、行政支援、子育て支援、健康支援等、「支援図書館」として市民に役立つ図書館を目指しておりますので、お越し頂きたいと思えます。</p>
栗田委員長	<p>ありがとうございます。このように多目的ホールが有効に活用されるように頑張って頂きたいと思えます。その他、よろしいでしょうか。</p> <p>では、報告第7号 専決処分の報告について、阿部教育長さんからお願いいたします</p>
阿部教育長	<p>専決第7号 平成19年度9月補正予算編成の議案送付についてご報告いたします。市議会の始まる9月4日までに議案を送付しなければならず、急を要しましたので、私が教育委員会に代わって処理させて頂きました。内容は、日野総括次長から説明いたします。</p>
日野総括次長	<p>議案書の8ページをご覧ください。 &lt;資料にもとづき説明&gt;</p>
栗田委員長	<p>ありがとうございます。報告第7号について、ご意見、ご質問はございますか。</p> <p>では、ご承認頂ける方は挙手をお願いします。</p>

<p>栗田委員長</p>	<p>全員挙手ですので、承認といたします。 では、「6 その他」に移ります。「平成19年度 中学校給食に関するアンケート調査結果」についてお願いいたします。</p>
<p>近藤学校給食課長</p>	<p>学校給食課より「中学校給食に関するアンケート調査結果」についてご報告いたします。お手元の資料をご覧ください。 今年7月にアンケートを実施いたしました。回答率につきましては、71.8%でございます。 &lt;資料に基づき説明&gt;</p>
<p>栗田委員長</p>	<p>ありがとうございました。何かご質問はございませんか。</p>
<p>小野委員</p>	<p>給食の選択率ですが、ある2校は55%、64%と低くなっています。過去から比べると上がってきていますが、学校の特殊な事情があるのでしょうか。アンケートの13ページ、15ページを拝見しますと、問1の“給食がある日で、給食にするか、弁当にするか、誰が決めることが多いですか？”の回答で“子どもが決めている”割合が、2校とも平均より高くなっていて50%近くとなっております。子ども任せなのか、子どもが自立しているのか、よくわかりませんが、学校間の意識の差はあるのでしょうか。</p>
<p>近藤学校給食課長</p>	<p>平成13年に始まった時からの流れが何となく継続されて、給食の選択率が低くなっております。それがなかなか払拭しきれず、現状のようになっております。できるだけ試食会や新入生の時にお話をする、学校へ訪問して校長先生とお話しさせて頂く、給食センターの栄養士が訪問し指導やお願いをするといったことを行っております。そして、ようやく50パーセントを超えました。ただ、今の3年生の選択率は低く、1年生は高いです。そのことから考えますと、今後の選択率は上がってくると想定しております。</p>
<p>小野委員</p>	<p>お弁当のお子さんは、親御さんが作ったお弁当を持って来ているのでしょうか。</p>
<p>近藤学校給食課長</p>	<p>そこまでは把握できておりませんが、お弁当は作ったものを持って来ていると思います。時間が無い時は、設置された弁当置き場に保護者が置けるようになっていますので、それはされているものと考えております。</p>
<p>小野委員</p>	<p>ありがとうございました。</p>

太田委員	<p>はい、関連してですが、37ページに“なぜお弁当にしましたか？”という質問の返答に“お弁当の思い出や愛情をあげたいから”という純粋な意見もありますので、一概に統一できない事情もあると思います。</p> <p>先程のヒヤリングでお聞きして驚いたのですが、“給食当番を免除されるからお弁当を選ぶ”ということもあるようですし、“注文の方法がマークシートを配られて3ヶ月前に決めないといけないから”と、ちょっと注文しにくいようなことも書かれていますので、注文方法が改善されたら選ばれる方が増えるのではないかと思います。</p>
近藤学校給食課長	<p>注文方法についてですが、私どもは1ヶ月前に注文して頂いたら十分対応できるのですが、学校によっては集金の関係で3ヶ月前から注文を取っているところと1ヶ月前に注文をとっているところがあり、学校によって対応が違っております。</p>
栗田委員長	<p>ありがとうございました。私が教育委員になった時から比べると、すごく良くなったなというのが正直な感想です。選択率が低い学校もありますが、いずれも50パーセントを超えていますので、あともう少し頑張ってもらいたいと思います。せっかくでしたら80パーセントぐらいまで頑張ってもらいたいと思います。</p> <p>あと、7ページの生徒数の表の増減の欄でマイナスの数字もありますが、選択率に子どもの人数が減っていることも関係があるのでしょうか。</p>
近藤学校給食課長	<p>これは単純に子どもの数が減ったということになります。</p>
栗田委員長	<p>それでは、パーセントの所を見たら良いということですね。その他よろしいでしょうか。</p>
高橋学校教育課長	<p>お手元にある「平成20年度 新居浜市夢広がる学校づくり事業」の資料をご覧ください。</p> <p>&lt;資料にもとづき説明&gt;</p>
栗田委員長	<p>この事業案を見て頂いて、ご質問はございませんか。</p>
阿部教育長	<p>私自身、“夢広がる学校づくり推進事業”を取り組んできて、1年単位がいいのか、または数年単位で進めていくのがいいのか、その辺りで悩んでいます。“特色ある学校づくり”で過去に推進してきた思いが途切れるというか、せめて小学校は6年、中学校は3年の流れがあるのではないのかと思います。6年は長いですが、せめて3年間はして</p>

	<p>欲しいという思いがあります。これからの学校教育の流れから考えると、途切れることがいいのかどうか。“夢広がる学校づくり”も新たな事業ですし、それも可能かなとも思いますが、その辺りで少しジレンマに陥っています。</p>
栗田委員長	<p>要望額が出て、それを査定して、金額的なものが出て「これでしなさい」となると推進という形になりますよね。今までの流れでいきますと、教育長が言われたように、以前と全然違う事に取り組んでいる学校もOKということになりますね。</p>
小野委員	<p>校長先生が変わられると、方針も変わる可能性は大きいですよ。</p>
栗田委員長	<p>スタート時に、先生方へ「校長先生が変わられても、特色ある学校づくりを目指すから、何年か続けるようにできますか」と何度もお聞きしました。校長先生が変わる度に変わっていたのでは、特色ある学校は生まれてこないと私自身は思います。</p>
太田委員	<p>校長先生が変わる度に、学校の特色や方針等が変わるのは当然だと思います。これは理想論かもしれませんが、特色を何にするか決める時に、例えばPTAの要望を取り入れれば、何年間か簡単には変えられない部分も出てくると思うので、そういう決め方もあるのではないかと思います。いかがでしょうか。</p>
小野委員	<p>今年度はこれで実施して、来年度は主旨や狙い等を再度見直したら良いかもしれませんね。</p>
栗田委員長	<p>では夢広がる学校づくり事業は、この案どおりでいってよろしいでしょうか。</p>
全員	<p>はい。</p>
栗田委員長	<p>では、これでお願いいたします。その他、よろしいでしょうか。夏休み中だったので、いじめ不登校の調査の報告はありませんよね。</p>
阿部教育長	<p>最後になって申し訳ないのですが、夏休み中に、児童生徒の生命に関わる重大なことはありませんでした。</p>
栗田委員長	<p>それはよかったです。ありがとうございます。その他よろしいでしょうか。</p> <p>来月の定例会は、10月4日の木曜日16時から開催致します。場</p>

所は後日連絡を頂きたいと思います。

これもちまして、第9回新居浜市教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

新居浜市教育委員会会議規則第54条の規定により署名する。

委員名

委員名

--	--